鈴鹿工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	英語ⅡA

科目基礎情報

科目番号	0032	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	材料工学科	対象学年	2
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	教科書： Intensive English Grammar in 27 Lessons （桐原書店）*昨年度より継続 / WIDE ANGLE Premium Book 2 英語総合問題演習 （美誠社） / HyperListening -Elementary-（桐原書店）参考書：『総合英語Forest 7th edition』（桐原書店）		
担当教員	長井 みゆき		

到達目標

英語ＩＡＢで学習した知識・技能を活用して，幅広い話題について読んだり，聞いたりする能力を養うとともに，異文化に対する理解を深め，コミュニケーションの手段として積極的に外国語を活用しようとする態度を育てる．Reading , Grammar, Writing, Vocabulary, Listeningの５分野の知識・技能を相互に連動させ、総合的な英語力の向上をねらいとする.

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目１	英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用しながら，明瞭で聞き手に伝わるように，句・文における基本的なリズムやイントネーション，音のつながりに配慮して，聞き手に伝わるように音読あるいは発話の応用ができる．かつまた中学で既習の語彙や文法や文構造の定着を図り，高等学校学習指導要領に準じた新出語彙や文法や文構造，及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して応用的に運用できる.	英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用しながら，明瞭で聞き手に伝わるように，句・文における基本的なリズムやイントネーション，音のつながりに配慮して，聞き手に伝わるように音読あるいは発話できる．かつまた中学で既習の語彙や文法や文構造の定着を図り，高等学校学習指導要領に準じた新出語彙や文法や文構造、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切に運用できる.	英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用しながら，明瞭で聞き手に伝わるように，句・文における基本的なリズムやイントネーション，音のつながりに配慮して，聞き手に伝わるように音読あるいは発話できない．かつまた中学で既習の語彙や文法や文構造の定着を図り，高等学校学習指導要領に準じた新出語彙や文法や文構造，及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切に運用できない.
評価項目２	日常生活や身近な話題に関して，毎分100語以上の速度ではっきりとした発音で話されたものから必要な情報を聞きとり，その内容の把握を他に適用することができる．説明や物語などの文章を毎分100語以上の速度で聞き手に伝わるように応用的に音読できる．日本語と平易な英語で書かれた文章を読み，その概要を把握し必要な情報を読み取り，その内容の把握を他に適用することができる．他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を応用的に記述できる.	日常生活や身近な話題に関して，毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話されたものから必要な情報を聞きとり，その内容を把握することができる．説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読できる．日本語と平易な英語で書かれた文章を読み，その概要を把握し必要な情報を読み取り，その内容を把握することができる．他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる.	日常生活や身近な話題に関して，毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話されたものから必要な情報を聞きとり，その内容を把握することができない．説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読できない．日本語と平易な英語で書かれた文章を読み，その概要を把握し必要な情報を読み取り，その内容を把握することができない．他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できない.
評価項目３	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い，その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら，その国の生活習慣や宗教的信条，価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて説明，解釈の適用ができる.	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い，その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら，その国の生活習慣や宗教的信条，価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて説明し，解釈できる.	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い，その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら，その国の生活習慣や宗教的信条，価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて説明も，解釈もできない.

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	英語ＩＡＢで学習した知識・技能を活用して，幅広い話題について読んだり，聞いたりする能力を身につけ，異文化理解を通じて，コミュニケーションの手段として外国語の重要性を理解できる.
授業の進め方・方法	・すべての授業内容は，学習・教育到達目標(A)＜視野＞＜意欲＞及び（C）＜英語＞に対応する.
注意点	<到達目標の評価方法と基準>下記「授業計画」の「到達目標」を網羅した事項を定期試験や小テスト等の結果，および課題等で評価し、目標の達成度を確認する．各到達目標の重みは概ね均等である．４回の定期試験の結果を６割，授業中に行われる小テスト等の結果，課題等を４割とした総合評価において６割以上を取得した場合を目標の達成とする. <学業成績の評価方法および評価基準>求められる課題の提出をしていなければならない．４回の定期試験の平均点を６０%とし，小テスト及びその他課題の評価を４０%とし，その合計点で評価する．ただし，各定期試験で60点に達していない者には再試験を課す場合がある．再試験の成績が該当する試験の成績を上回った場合には，60点を上限としてその試験の成績を再試験の成績で置き換えるものとする. <単位修得要件>学業成績で60点以上を取得すること. <あらかじめ要求される基礎知識の範囲>英語ＩＡＢで学習した英単語，熟語，英文法の知識. <レポートなど>授業に関連した小テスト及び課題(レポート等)を課す. <注意事項>・授業は講義・輪読形式で行う．　毎回の授業分の予習をしたうえで，積極的に授業に参加すること．授業には必ず英和辞典（電子辞書でも可）を用意すること.

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	Introduction (授業の進め方、勉強方法、評価方法) Intensive English Grammar Lesson 27 時制の一致	１．「授業内容」に示した教科書の英文の内容が理解できる. ２．英文の内容に関して簡単な質疑応答が英語でできる. ３．教科書の英文に使用されている英単語・熟語の意味を理解し，使用できる. ４．英文を内容が伝わる程度に朗読できる.

		2週	Intensive English Grammar Plus 時制の一致と話法 【Listening】描写	上記１～４、５．be動詞を用いた文が理解できる.
		3週	Lesson 1: カナダでの体験（エピソード） 【文法】文の種類（be動詞） 【Listening】会話	上記１～４、５．be動詞を用いた文が理解できる.
		4週	Lesson 2: ホームステイに行く前に（会話文） 【文法】文の種類（一般動詞） 【Listening】アナウンス	上記１～４、６．一般動詞を用いた文が理解できる.
		5週	Lesson 3: 日曜の訪問 （エッセイ） 【文法】文型（S-V / S-V-O / S-V-O-O） 【Listening】位置関係	上記１～４、７．S-V / S-V-O / S-V-O-Oの文型が理解できる.
		6週	Lesson 4: 私が医師になりたい理由 （スピーチ） 【文法】文型（S-V-C / S-V-O-C） 【Listening】キャンパスツアー	上記１～４、８．S-V-C / S-V-O-Cの文型が理解できる.
		7週	Lesson 4: 私が医師になりたい理由 （スピーチ） 【文法】文型（S-V-C / S-V-O-C） 【Listening】復習テスト１	上記１～４、８．S-V-C / S-V-O-Cの文型が理解できる.
		8週	中間試験	上記１～８
	2ndQ	9週	試験返却・解説	上記１～８
		10週	Lesson 5: お天気のことわざ（論説文） 【文法】時制 【Listening】会話（電話）	上記１～４、９．動詞の基本時制が理解できる.
		11週	Lesson 6: 海外留学事情（会話文） 【文法】進行形 【Listening】道案内	上記１～４、10．進行形を用いた文が理解できる.
		12週	Lesson 7: 紙の家（エピソード） 【文法】完了形 【Listening】ニュース	上記１～４、11．現在完了形を用いた文が理解できる.
		13週	Lesson 7: 紙の家（エピソード） 【文法】完了形 【Listening】素早い応答	上記１～４、12．過去完了形を用いた文が理解できる.
		14週	Lesson 8: 渡し舟（物語） 【文法】助動詞１ 【Listening】時間	上記１～４、13．助動詞を用いた文が理解できる.
		15週	Lesson 9: 時計の昔と今（論説文） 【文法】助動詞２ 【Listening】復習テスト２	上記１～４、13．助動詞を用いた文が理解できる.
		16週		
後期	3rdQ	1週	前期末試験の返却・解説 夏休み宿題テスト	上記１～４および９～１３
		2週	Lesson 10: 大統領へのeメール（eメール） 【文法】態１ 【Listening】ラジオで	上記１～４、14．能動態・受動態が理解できる.
		3週	Lesson 10: 大統領へのeメール（eメール） 【文法】態２ 【Listening】インタビュー	上記１～４、14．能動態・受動態が理解できる.
		4週	Lesson 11: 夢の実現（スピーチ） 【文法】不定詞１ 【Listening】会話	上記１～４、15．不定詞の用法が理解できる.
		5週	Lesson 12: 英語を学ぶ目的（エピソード） 【文法】不定詞２ 【Listening】買い物	上記１～４、15．不定詞の用法が理解できる.
		6週	Lesson 13: 紙の消費（論説文） 【文法】動名詞 【Listening】グラフ	上記１～４、16．動名詞の用法が理解できる.
		7週	Lesson 13: 紙の消費（論説文） 【文法】動名詞 【Listening】復習テスト３	上記１～４、16．動名詞の用法が理解できる.
		8週	中間試験	上記１～４および14～16
	4thQ	9週	中間試験返却・解説	上記１～４および14～16
		10週	Lesson 14: 自転車の歴史（論説文） 【文法】分詞 【Listening】スピーチ	上記１～４、17．現在分詞・過去分詞の形容詞的用法が理解できる.
		11週	Lesson 14: 自転車の歴史（論説文） 【文法】分詞 【Listening】会話	上記１～４、18．分詞構文が理解できる.
		12週	Lesson 15: 特別な乗客（物語） 【文法】関係詞 【Listening】留守番電話のメッセージ	上記１～４、19．関係代名詞・関係副詞が理解できる.
		13週	Option 1【文法】比較表現 【Listening】バスツアー	上記１～４、20．比較表現が理解できる.
		14週	Option 2【文法】仮定法 【Listening】講義	上記１～４、21．仮定法を用いた表現が理解できる.
		15週	Option 3【文法】話法 【Listening】復習テスト４	上記１～４、22．直接話法・間接話法について理解できる.
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	
			英語運用能力の基礎固め	説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
	工学基礎	グローバリゼーション・異文化多文化理解	グローバリゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	2	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	2	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	2	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	2	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。	2	

評価割合

	試験	小テスト	課題演習	合計
総合評価割合	60	30	10	100
配点	60	30	10	100